

2022年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年11月11日

上場会社名 東和ハイシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4172 URL <https://www.towa-hi-sys.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 石井 滋久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 猪子 久美子 (TEL) 086-243-3003
 定時株主総会開催予定日 2022年12月24日 配当支払開始予定日 2022年12月9日
 有価証券報告書提出予定日 2022年12月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期の業績 (2021年10月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期	2,215	△6.5	416	△30.8	475	△16.8	316	△15.8
2021年9月期	2,369	24.1	601	56.6	571	43.5	375	53.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年9月期	141.96	—	8.9	11.8	18.8
2021年9月期	173.64	—	12.2	16.1	25.4

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年9月期	4,045	3,589	88.7	1,611.22
2021年9月期	4,018	3,503	87.2	1,572.28

(参考) 自己資本 2022年9月期 3,589百万円 2021年9月期 3,503百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年9月期	342	△481	△222	1,488
2021年9月期	247	△574	444	1,849

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年9月期	—	0.00	—	65.00	65.00	144	37.4	4.5
2022年9月期	—	35.00	—	43.00	78.00	173	54.9	4.9
2023年9月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		47.8	

3. 2023年9月期の業績予想 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,298	1.8	344	△4.4	357	△3.4	249	0.3	112.18
通期	2,331	5.2	343	△17.5	378	△20.4	264	△16.3	118.80

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料のP.11「3. 財務諸表及び主な注記(5) 財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年9月期	2,228,000株	2021年9月期	2,228,000株
② 期末自己株式数	2022年9月期	—株	2021年9月期	—株
③ 期中平均株式数	2022年9月期	2,228,000株	2021年9月期	2,162,904株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(会計方針の変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の普及が進み、行動制限が緩和されたこと等による持ち直しの動きが見られました。また新規感染者数についても「全数把握」の見直しなど、徐々にウィズコロナへ移行しつつあります。一方で新型コロナウイルス感染症の収束時期は未だ見通せず、ウクライナ情勢の緊迫化や原材料・エネルギー価格の高騰、急速な円安進行の影響による物価の高騰は続いており、引き続き、個人消費の低迷や企業収益の悪化が懸念される不透明な状況となっております。

歯科医療業界におきましては、医療従事者の業務量の削減や業務効率化をはじめとしたデジタル化やDX化を推し進めていく中、2021年10月20日に運用が開始されたオンライン資格確認等システムについての政府主導による議論が大きく進み、2022年8月10日、中央社会保険医療協議会（中医協）は2023年4月からマイナンバーカードによるオンライン資格確認システムの導入を原則として義務づける療養担当規則の改正案を答申、更に2022年10月13日、政府は2024年秋にも現在使われている健康保険証の廃止を発表するなど、駆け込み需要が大きく見込まれる状況にあります。

そのような中、当社は事業理念に沿った「サポートなくして販売なし」「お客様の笑顔 お客様の満足が私たちの喜び」「顔が見え、心が触れ合う」「親しまれ・愛され・信頼されるサポート」をモットーに対面型の営業サポートを継続してまいりましたが、約2年半に亘る歯科医院の新型コロナウイルス感染リスク対策の結果、予約中心の受付や予約制限による来院患者の調整、感染を懸念する患者の通院マインドの低下などで来院患者数は大きく減少、更に物価高騰による経費の増加やオンライン資格確認等システム導入による一時的な経費負担増が加わり、歯科医院の経営が逼迫されたことや後継者不足でシステムの買替控えや閉院・廃院する歯科医院が散見されるなど、引き続き、システム販売にも影響が出ております。

一方、当社は当事業年度につきましてオンライン資格確認等システムの販売に邁進し、受注率87%（2022年9月30日現在）を達成しました。

これら一連の活動を、主力商品である電子カルテ統合システム「Hi Dental Spirit XR-10i」販売へと繋げてまいりました結果、当事業年度の売上高は2,215,419千円（前年同期比6.5%減）、営業利益は416,487千円（前年同期比30.8%減）、経常利益は475,052千円（前年同期比16.8%減）、当期純利益は316,275千円（前年同期比15.8%減）となりました。

なお、当社は、「歯科医院向けシステム事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における資産合計は4,045,753千円となり、前事業年度末より27,587千円増加いたしました。

a. 流動資産

流動資産は2,260,720千円と前事業年度末より374,943千円減少いたしました。主な内訳は、有価証券購入に伴う現金及び預金の減少361,277千円、売掛金の減少142,284千円と、商品の増加73,703千円であります。

b. 固定資産

固定資産は1,785,032千円と前事業年度末より402,531千円増加いたしました。主な内訳は、ソフトウェアが22,984千円、社債等購入に伴う投資有価証券が354,460千円増加しております。

(負債)

当事業年度末における負債合計は455,953千円となり、前事業年度末より59,170千円減少いたしました。

a. 流動負債

流動負債は408,417千円と前事業年度末より61,111千円減少いたしました。主な内訳は、買掛金の減少44,283千円、未払法人税等の減少13,579千円、未払消費税等の減少15,517千円であります。

b. 固定負債

固定負債は47,536千円と前事業年度末より1,941千円増加いたしました。退職給付引当金の増加1,941千円によります。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は3,589,799千円となり、前事業年度末より86,758千円増加いたしました。主な内訳は、利益の獲得による増加と配当金の支払による減少の結果として利益剰余金が93,475千円増加したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は1,488,580千円となり、前事業年度末より361,277千円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は342,682千円（前年同期は247,995千円の収入）となりました。これは主として法人税等の納付による189,051千円の支出等があったものの、税引前当期純利益の獲得による478,248千円の収入、減価償却費48,746千円の計上、売上債権の減少142,284千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって支払った資金は481,224千円（前年同期は574,520千円の支出）となりました。これは主として投資有価証券の売却による144,899千円の収入があったものの、有形固定資産の取得による支出24,973千円、無形固定資産の取得による支出73,317千円、投資有価証券の取得による支出487,210千円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって支払った資金は222,735千円（前年同期は444,716千円の収入）となりました。これは主として配当金222,735千円の支出があったことによります。

(4) 今後の見通し

当社は、2022年2月15日に発表いたしました歯科医院向けAI・音声電子カルテシステムの開発は順調に進んでおり、現在、20件弱のモニター医院で稼働及び稼働の予定をしており、稼働している医院では納品日の翌日から音声入力電子カルテを使いこなせたり、従来は2人で行う歯周検査が音声入力電子カルテがあれば1人でできるなど、大変な好評価をいただいております。今後は、より使い勝手の良いシステムへ改良改善を重ね、「歯科DX「夢」を実現」に向けて日立製作所と協創し、新春の発売を目指しております。乞うご期待ください。

したがって、2023年9月期につきましては、歯科医院向けAI・音声電子カルテシステムや新規開発として歯科医院予約サイト「歯科コミ」、それらに関連するソフト開発等に2億円強の大型開発投資を行う予定です。よって、売上原価及び一般管理費の増加が見込まれます。

また、オンライン資格確認等システムにつきましては、2023年4月1日に本格稼働することで、一段落することが想定されます。

その結果、2023年9月期の業績は、売上高2,331,658千円（前年同期比5.2%増）、営業利益343,529千円（前年同期比17.5%減）、経常利益378,129千円（前年同期比20.4%減）となる予想をしております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は現在、日本国内での業務を主としていることから、当面は国内の同業他社との比較可能性を確保するため、日本基準を適用することとしております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年9月30日)	当事業年度 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,159,858	1,798,580
売掛金	285,911	143,627
商品	163,040	236,743
前払費用	24,342	35,485
未収入金	2,512	1,665
預け金	—	44,618
流動資産合計	2,635,664	2,260,720
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	357,530	339,997
構築物（純額）	2,212	2,330
車両運搬具（純額）	3,101	14,693
工具、器具及び備品（純額）	27,055	26,730
土地	349,929	349,929
有形固定資産合計	739,829	733,681
無形固定資産		
ソフトウェア	59,222	82,206
ソフトウェア仮勘定	13,725	46,538
その他	2,227	2,122
無形固定資産合計	75,175	130,867
投資その他の資産		
投資有価証券	500,000	854,460
敷金及び保証金	33,661	33,156
繰延税金資産	31,703	31,332
その他	2,130	1,533
投資その他の資産合計	567,495	920,482
固定資産合計	1,382,500	1,785,032
資産合計	4,018,165	4,045,753

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年9月30日)	当事業年度 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	97,185	52,901
未払金	222,007	215,511
未払法人税等	99,294	85,714
未払消費税等	27,782	12,264
預り金	7,209	6,220
賞与引当金	8,720	11,119
その他	7,330	24,685
流動負債合計	469,529	408,417
固定負債		
退職給付引当金	45,594	47,536
固定負債合計	45,594	47,536
負債合計	515,123	455,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	343,080	343,080
資本剰余金	297,480	297,480
利益剰余金	2,862,481	2,955,957
株主資本合計	3,503,041	3,596,517
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△6,717
評価・換算差額等合計	—	△6,717
純資産合計	3,503,041	3,589,799
負債純資産合計	4,018,165	4,045,753

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	当事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,369,643	2,215,419
売上原価	585,847	586,013
売上総利益	1,783,795	1,629,405
販売費及び一般管理費	1,182,194	1,212,917
営業利益	601,601	416,487
営業外収益		
受取利息	382	11
有価証券利息	5,330	16,902
受取配当金	—	17,500
受取手数料	2,281	1,258
投資有価証券売却益	—	21,809
その他	179	1,083
営業外収益合計	8,173	58,564
営業外費用		
株式交付費	9,379	—
株式公開費用	27,183	—
投資有価証券償還損	1,832	—
その他	169	—
営業外費用合計	38,564	—
経常利益	571,210	475,052
特別利益		
固定資産売却益	—	3,196
特別利益合計	—	3,196
特別損失		
減損損失	31,659	—
特別損失合計	31,659	—
税引前当期純利益	539,551	478,248
法人税、住民税及び事業税	162,051	158,659
法人税等調整額	1,932	3,313
法人税等合計	163,984	161,972
当期純利益	375,566	316,275

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	68,000	22,400	22,400
当期変動額			
新株の発行	275,080	275,080	275,080
剰余金の配当			
当期純利益			
圧縮積立金の取崩			
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	275,080	275,080	275,080
当期末残高	343,080	297,480	297,480

	株主資本						
	利益準備金	利益剰余金				利益剰余金合計	株主資本合計
		その他利益剰余金			繰越利益剰余金		
		固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	10,000	15,934	170,900	2,358,959	2,555,794	2,646,194	
当期変動額							
新株の発行						550,160	
剰余金の配当				△68,880	△68,880	△68,880	
当期純利益				375,566	375,566	375,566	
圧縮積立金の取崩		△854		854	—	—	
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	△854	—	307,540	306,686	856,846	
当期末残高	10,000	15,080	170,900	2,666,500	2,862,481	3,503,041	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	△292	△292	2,645,902
当期変動額			
新株の発行			550,160
剰余金の配当			△68,880
当期純利益			375,566
圧縮積立金の取崩			—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	292	292	292
当期変動額合計	292	292	857,138
当期末残高	—	—	3,503,041

当事業年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	343,080	297,480	297,480
当期変動額			
新株の発行			
剰余金の配当			
当期純利益			
圧縮積立金の取崩			
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	343,080	297,480	297,480

	株主資本					
	利益剰余金					株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計	
		固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	10,000	15,080	170,900	2,666,500	2,862,481	3,503,041
当期変動額						
新株の発行						—
剰余金の配当				△222,800	△222,800	△222,800
当期純利益				316,275	316,275	316,275
圧縮積立金の取崩		△854		854	—	—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	△854	—	94,330	93,475	93,475
当期末残高	10,000	14,226	170,900	2,760,830	2,955,957	3,596,517

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	—	—	3,503,041
当期変動額			
新株の発行			—
剰余金の配当			△222,800
当期純利益			316,275
圧縮積立金の取崩			—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△6,717	△6,717	△6,717
当期変動額合計	△6,717	△6,717	86,758
当期末残高	△6,717	△6,717	3,589,799

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	当事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	539,551	478,248
減価償却費	35,464	48,746
減損損失	31,659	—
投資有価証券償還損益 (△は益)	1,832	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△21,809
固定資産売却損益 (△は益)	—	△3,196
株式交付費	9,379	—
株式公開費用	27,183	—
受取利息及び受取配当金	△5,712	△34,413
売上債権の増減額 (△は増加)	△216,080	142,284
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△105,021	△73,703
仕入債務の増減額 (△は減少)	32,601	△44,283
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△914	2,399
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,440	1,941
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△12,448	△15,517
その他	70,723	16,624
小計	413,658	497,320
利息及び配当金の受取額	5,712	34,413
法人税等の支払額	△171,375	△189,051
営業活動によるキャッシュ・フロー	247,995	342,682
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50,300	△24,973
有形固定資産の売却による収入	—	3,216
投資有価証券の取得による支出	△701,832	△487,210
投資有価証券の売却による収入	—	144,899
有価証券の償還による収入	250,000	—
無形固定資産の取得による支出	△69,967	△73,317
預け金の預入による支出	—	△44,618
その他の支出	△5,039	△460
その他の収入	2,619	1,238
投資活動によるキャッシュ・フロー	△574,520	△481,224
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	550,160	—
株式の発行による支出	△36,563	—
配当金の支払額	△68,880	△222,735
財務活動によるキャッシュ・フロー	444,716	△222,735
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	118,191	△361,277
現金及び現金同等物の期首残高	1,731,666	1,849,858
現金及び現金同等物の期末残高	1,849,858	1,488,580

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。また、収益認識会計基準等の適用による損益に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、時価算定会計基準の適用による財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響について)

新型コロナウイルス感染症(以下、本感染症)の感染拡大による当社の事業活動への影響は、2022年9月30日時点におきましては、限定的な範囲にとどまっていることを確認しております。

当社では、今後も本感染症による影響は限定的な範囲にとどまるものと仮定して、繰延税金資産の回収可能性および固定資産の減損損失等の会計上の見積りを行っております。

なお、当該見積りは現時点で入手可能な情報等に基づいたものであること、今後の本感染症の長期化・深刻化の状況によっては、上記見積り結果に影響し、当事業年度以降の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、歯科医院向けシステム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	当事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
1株当たり純資産額	1,572円28銭	1,611円22銭
1株当たり当期純利益	173円64銭	141円96銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	当事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	375,566	316,275
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	375,566	316,275
普通株式の期中平均株式数(株)	2,162,904	2,228,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—